

伊勢湾貧酸素情報（第6報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

6月から伊勢湾で観測されていた貧酸素水塊は、湾奥部の一部を除き消滅しました。
今期については、今後大規模な貧酸素水塊の発生はないと思われま

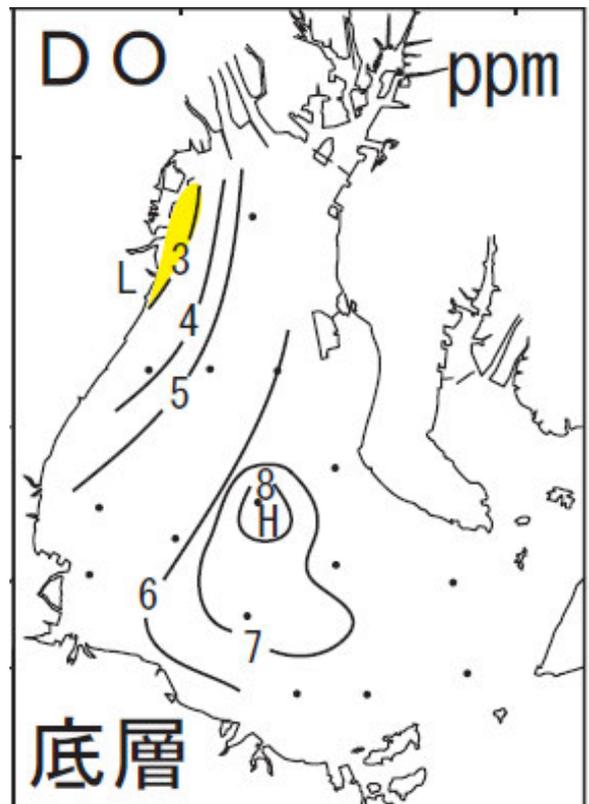
11月1日の調査結果

11月1日の調査船「あさま」の定線観測によると、6月から伊勢湾で観測されていた貧酸素水塊は、湾奥部の一部を除き消滅しました。

表層と底層の水温差が小さく、海水が混合しやすい状態のため、今期については、今後大規模な貧酸素水塊の発生はないと思われま

水温は表層で19.2～20.9℃、10mで20.0～22.1℃、底層で20.2～22.6℃の範囲にあり、表層は平年よりやや高めから高め、10mと底層では高めでした。

DO（溶存酸素量）は表層で7.1～9.4ppm、10mで5.3～7.9ppm、底層で2.9～8.3ppmの範囲にあり、表層、10m、底層とも平年並でした。



底層貧酸素水塊分布図